

大学自己評価部会だより

第49号 (平成28年2月)

ディプロマ・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。デュプロマ・ポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、修了要件や育成する人材に習得を期待する能力を示したものです。

- (1) 歯科医師として求められる専門知識と技能が備わっていること。
- (2) 柔軟な判断力と問題の自己解決能力が備わっていること。
- (3) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する能力が備わっていること。
- (4) 全身の健康という視点に立った歯科医療活動をできる能力が備わっていること。
- (5) 国際的な社会貢献できる基礎的能力が備わっていること。
- (6) 歯科医学を支える研究を国際的に展開する基礎的能力が備わっていること。
- (7) 学際領域の学問分野とともに地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること。

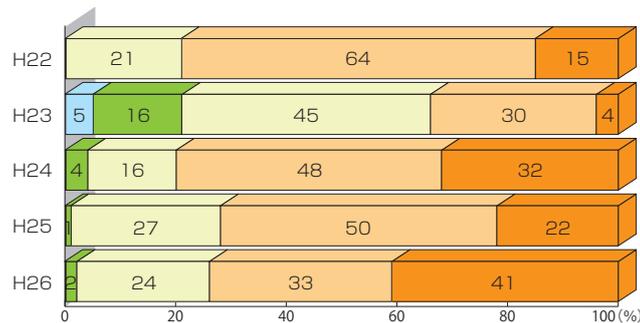
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成22～26年度の5年間を比較しました。

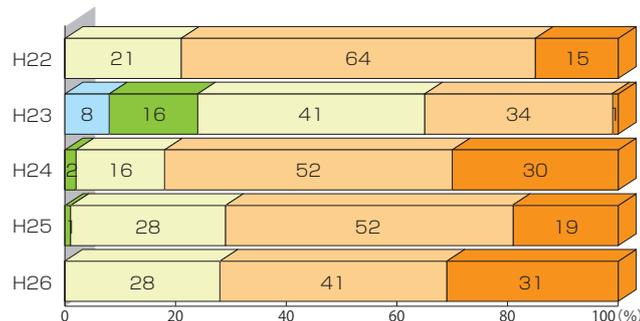
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、毎年講義内容の見直しを行っています。また、平成25年度より北九州市立大学、九州工業大学、産業医科大学との大学院の単位互換を開始しました。大学院生には選択科目の幅が広がり、より興味ある講義・実習が提供されています。

主科目に対する
満足度



副科目・選択科目に
対する満足度

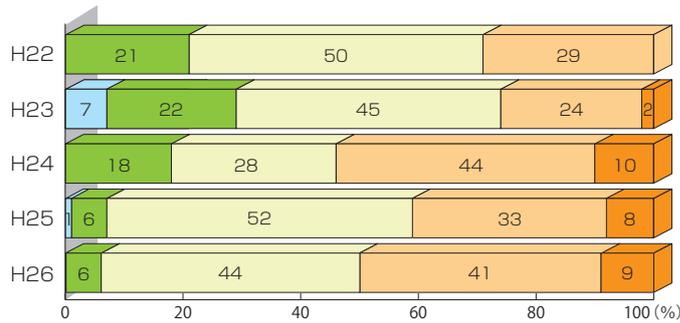


■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

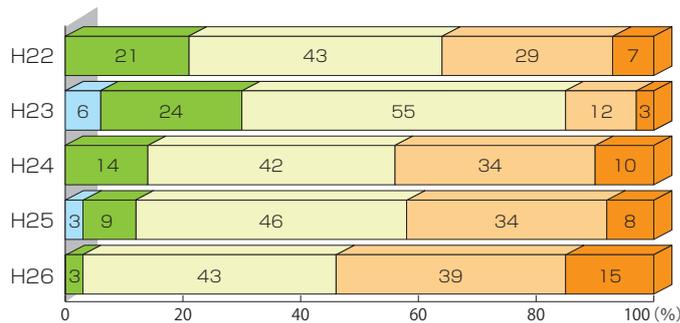
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の書き方を統一したことにより、ずいぶん見易く、判り易くなったようです。大学院生の要望が多かった「臨床研究デザイン」を開講し、好評を得ました。その一方で、プレゼンテーションを教える講義に対する要望にはまだ十分応えられていないようです。

授業要綱は判り易いですか

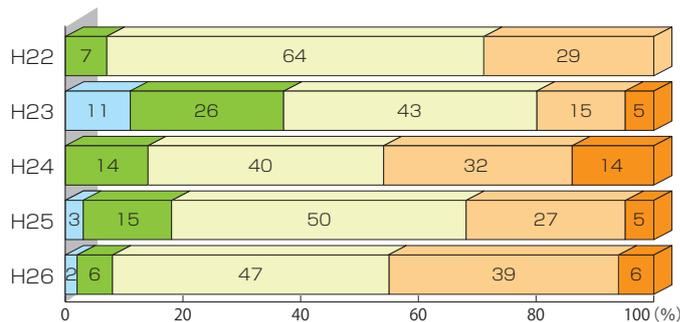


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

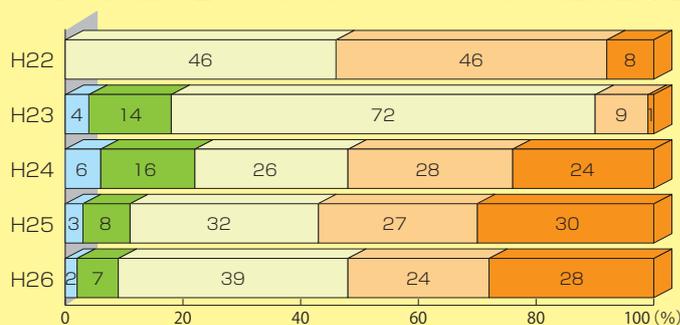
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

過去2年間は概ね高評価を得ていますが、やはり研究と臨床のバランスに配慮して欲しいという意見と、研究に関する論文がダウンロードできないという意見が多く見られます。指導教員の先生方は大学院生と研究のゴールを明確にし、臨床と研究のバランスについてよく話し合うことが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。